

2013.10
第153号

看護かごしま



始良市 ^{しらかね}白銀坂からの桜島

写真協力:内倉外科 院長 内倉敬一郎

Contents

業務執行理事近況報告	2
第44回日本看護学会—老年看護—学術集会開催報告	3~5
心に残る看護体験	6
オイDONが病院	7
ナースセンターだより	8・9
協会からのおしらせ	10・11
会員の状況	12
看護協会入会のご案内	13
入会特典	14
役員・委員・代議員・予備代議員の公募について	15
理事会報告	16

公益社団法人鹿児島県看護協会 業務執行理事近況報告

会長 平川 涼子

この夏は、12年ぶりに学術集会（老年看護）を開催でき、猛暑の中、担当者一同熱く燃えました。ご参加・ご協力いただきました方々に感謝申し上げます。新たな出会いもあり、face to face の関係はすばらしいと実感いたしました。

ようやく秋めいてまいりました。涼やかな風が心地よいですね。先日、母の米寿と弟の還暦を祝って、5家族で南阿蘇へ出かけました。ススキや萩、十六夜の月がきれいでしたが最大の感激はアスペクタという野外劇場でのプライベートコンサートです。阿蘇の五岳が見える草原の中で、好きな音楽をクリアな音響で聴くことができます。今回は弟達のリクエストを優先しましたが、次は自分のための音楽を聴きたいと切に思いました。こんな形で音楽を楽しめるなんて!! 気持ちよかったです。皆さまも自分へのご褒美にいかがでしょうか。秋を楽しみましょう。

専務理事 宮蘭美恵子

平成 25 年度上半期の主な取組を紹介いたします。理事会・運営委員会・常任委員会・特別委員会等も各設置目的に則り、計画どおり運営されております。特に理事会においては、総会に次ぐ意思決定機関ということで、様々な議題（詳細は本紙末頁）に対応していただいております。5月30日に県・県医師会・本会の共催で実施した「看護の日記念式典」は、前年度の約3倍近い305名の参加がありました。ホームページのリニューアル、日本看護協会と県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練、県知事への要望活動、災害支援ナースの災害補償保険加入等、計画に沿って実施しております。

ナースセンター事業も、今年度から新たにハローワーク鹿児島での相談、看護学校養成所の訪問、再就業支援セミナーの鹿児島市以外（今年度は大隅地区）での開催等、関係機関のご協力をいただきながら、着実に進めております。

また、県の地域医療再生計画事業に本会から看護職確保関連と在宅医療推進関連事業の計画書を提出しましたところ採択の連絡をいただきました。また、県から新たに、新人看護職員合同研修を受託して、鹿児島（熊毛）・南薩・大隅の3地区で実施することになりました。新人看護職員の資質向上と離職防止を願っているところです。下半期もどうぞよろしくお願いいたします。

常任理事 加治屋伸子

今年の夏は、第44回日本看護学会—老年看護—学術集会の開催という大きな事業を、好評を得て無事終えることができました。これも多くの方々のご協力の賜物と感謝の気持ちでいっぱいです。学術集会の模様を看護かごしまに掲載させていただくことになり、学会準備委員の方々から寄せていただいた原稿を前に、改めて学会準備、抄録選考両委員会の設置からテーマ、特別企画、プログラム作成等々検討と作業の試行錯誤の日々が思い出され感慨深いものがありました。

ところで、平成 25 年度教育研修は研修計画書に基づき実施中ですが、新たに追加実施する研修も出てまいりました。研修内容を深めたいと講師と調整中です。また、研修会館での研修のほか地区での研修も予定通り実施中です。身近な場所での研修を日々の看護に活かしていただければ幸いです。

第44回日本看護学会—老年看護—学術集会 開催報告



平成25年7月25・26日、鹿児島市民文化ホール、鹿児島サンロイヤルホテルで、「高齢者が自ら輝く社会へ～安心して生きることを支える看護の力～」をメインテーマに第44回日本看護学会—老年看護—学術集会を日本看護協会との共催で開催しました。

開会式では鹿児島県知事、鹿児島市長、鹿児島県医師会長からご祝辞をいただき、また、鹿児島市医師会長、鹿児島県助産師会会長、鹿児島県看護連盟会長にもご臨席いただきました。全国各地から一般参加申込1788名、その他参加者を含めると2000名を超える方が参加されました。研究発表では、口演57演題、示説88演題が日頃の看護の成果を発表されました。



学会を開催するにあたり、昨年4月には学会準備委員会を設置し、高齢先進国である鹿児島から高齢社会における看護について発信したい、鹿児島らしさをお伝えできる企画をと検討を重ねました。多くの方々にご協力いただき、無事学会を終えることができましたことを感謝しつつ、ここに学会のご報告をいたします。

ありがとうございました！

【常任理事 加治屋 伸子】

特別講演

ILC-Japanの事務局長である志藤洋子さんに、21世紀の課題である少子高齢化社会への対応について、各国の事例をふまえながら講演いただきました。

長寿先進国である日本は世界のモデルとして注目されていることや、高齢者自身も支えられる側から支える側へと発想の転換をはかり、生涯を自分の意思で責任を持って生き抜く覚悟が必要なこと等、本学会のメインテーマにふさわしい内容でした。大きな視点で少子高齢化社会を俯瞰でき、これからの時代をどう生きていくか考える機会となりました。



志藤洋子先生

【学術集会会長 平川 涼子】

参加者の声

私はもとより在宅看護に興味があり、今回学会に参加しました。

特別講演では、高齢化に伴う現状と今後の課題、教育講演では在宅における看護の役割について貴重なお話を聞くことができました。

特に私が印象に残っているのは「高齢者も自分の人生があり、人に委ねるのではなく自分で自分の道を決定していかなくてはならない」という、志藤先生の言葉です。私は患者さんの言葉にどのくらい耳を傾けて退院後の生活について考えてきたのだろうかと改めて考えさせられ、今後の退院支援の指針となりました。このような大きな学会が鹿児島で開催され参加の機会が得られたことに、感謝いたします。

教育講演



長尾和宏先生

昨年の夏、教育講演の演者を準備委員会で検討している丁度その頃、『平穏死10の条件』がベストセラーとなり、在宅看取りについて世論が動き始めた時期でした。著者で非常に多忙な長尾先生を講師として招聘できたことは本当にラッキーだったと思います。

テーマの意義を深めるという教育講演にふさわしい、「高齢者が最期まで自宅で自分らしく生活したい」という気持ちを支えるために看護者が果たす役割について、講師の多くの実践を通して考えさせられる内容でした。先生の目指す在宅医療への熱意が、多くの感動を呼び最後に参加者からの涙を誘っていました。

この教育講演については、NHK鹿児島島のニュースにも取り上げられました。

【学会準備委員長 向窪 世知子】

参加者の声

アンケートより抜粋

看護の中で、命に関する倫理や人間対人間のかかわりについては、とても大切に注目されているものと思います。今後もこのような刺激的で命が奮い立つような講演を聞きたいと思いました。

シンポジウム

「地域の中で高齢者を支える」～急性期から看取りまでそれぞれの役割をつなげる～というテーマのもと、座長に日本看護協会齋藤常任理事を迎え、鹿児島市立病院地域連携室看護師長の富吉さん、公益財団法人慈愛会理事長（医師）の今村先生、垂水市保健福祉課課長補佐（保健師）の堀之内さん、鹿屋市串良町柳谷自治公民館長の豊重さん、4名の方々によるそれぞれの立場からの活動と現状、課題を知ることができました。

急性期病院における地域との連携、ネットワーク作りの重要性、疾病構造の変化や高齢化の進展を受けて「ケアとケアのバランス」の問題、そして人が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるにはどうしたらよいか等を考える良い機会となりました。

「住民一人一人が地域作りの主役」という豊重さんの通称「やねだん」の話の中では、地域において生き字引である高齢者の出番も多く、それが生きがい・その人らしさにつながり、高齢者が生き生きと活躍している状況が話され会場から多くの賛同の声が上がりました。鹿児島県の高齢者を支える看護の役割について多くの示唆を得ることができました。

【協力員 田中 裕美】



参加者の声

アンケートより抜粋

シンポジウムに参加してとても勉強になりました。
豊重さんの話がとても衝撃的でした。今村先生のお話も大変興味深く勉強になりました。

市民公開講座

県看護協会の公益社団法人としての新たなスタートを記念した県民向けの公開講座として企画。認知症の予防のための脳の若返りを目指した「ひらめきウォーキング」について、群馬県高崎市の介護予防事業の取組等をもとにわかりやすく御講演いただきました。

県内各地から一般県民等約 260 名が参加、ウォーキングは、単に歩くだけでなく、楽しみながら目標を持って続けることで認知症の予防効果がある事、実践するポイントは自分自身への「ごほうび」、「認知症は長寿の証」という言葉が印象的でした。看護職も多数参加されており、認知症の予防について専門職としての関心の高さも伺えました。

【学会準備委員 八田 冷子】



参加者の声

アンケートより抜粋

ひらめきウォーキング、とても分かりやすかったです！

研究発表

口演発表は、第1～3会場で行われ、教育講演からの継続とも言える看取りについての発表の人气が高く 350 名程入場者がありました。また、2日目の認知症看護や退院支援などの発表会場は約 500 名が入場し、質疑応答も活発にみられ時間が足りないほどでした。

協力員や研究発表で参加した者からも学術集会テーマに沿った講演やそれぞれの研究発表となり、とても興味深く学びが多い学会だったという感想が多く聞かれました。

【学会準備委員 宮崎 恵美子】

第4会場では、演題(両日 44 演題)はポスター形式で1日目 10時～16時50分、2日目 9時～15時で掲示され、2日間で 88 演題(9 群)の示説発表が行われました。発表時間以外は、抄録集やメモを片手にポスターに見入っている参加者の姿が多数みられつつも、ゆとりのある空間でしたが、発表時間が近づくと会場に人が溢れ、発表時間になると演者との直接の質疑応答の風景が会場全体にみられ活気に満ちていました。

【学会準備委員 片平 久代】



交流集会



サンロイヤルホテルの会場では、交流集会4つと日看協による論文支援講座を行ないました。交流集会は、「認知症看護認定看護師と考えよう！－事例で学ぶ認知症患者への早期対応－」「いくつになっても食べる喜びを－高齢者ソフト食を活用し、安全でその人に合った食事を提供しよう－」「介護施設に勤務する看護職の研修のあり方について」「急性期病院と地域連携について」というテーマで、延べ750名の参加がありました。また、「論文作成支援講座」にも100名の方が参加され、論文作成のポイントと倫理的配慮について学びました。

セミナーは、鹿児島県の郷土色を出し「しろくまセミナー」と題し、鹿児島銘菓の「しろくま」を召し上がっていただきながらのスイーツセミナーでした。志学館大学の原口泉教授に「薩摩と会津の女性史」について講演していただきました。今年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公である新島八重と薩摩の意外な歴史について学びました。また学会終了後、薩摩琵琶の夕べを開催し、薩摩琵琶奏者の島津義秀さんに「城山」を演奏していただきました。県外の方だけでなく県内の参加者も荘厳な演奏に聞き入っておられました。

一日目の最後は、揚げたてのさつま揚げと鹿児島の焼酎を試飲していただき、楽しいひとときを過ごすことができました。

【学会準備委員 西 真理子】

交流集会「急性期病院と地域連携について」を企画して

交流集会では、当院の「鹿児島医療人育成」「自ら輝く鹿児島大学キャリアパス地域看護コース」の紹介と、退院支援ナースの育成・地域医療連携センターでの看護師の活動状況を報告しました。

会場は満席で、急性期病院と地域連携へのシームレスなケアに向けた教育への関心の高さが伺えました。当院の取り組みはスタートしたばかりですが、今後も、超高齢化社会の先進県として急性期病院と地域とのシームレスなケアを目指し、地域の方々と顔の見える連携につなげられるように真摯に取り組んで参りたいと思っております。

【鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 田畑千穂子】



日本看護学会老年看護学術集会を終えて

初めて日本看護学会の準備委員を経験、受付の責任者を務めました。平川会長の「鹿児島らしいおもてなしで満足して頂く」ということばに身の引き締まる思いでした。そして、プログラム内容はもちろんですが、会場の照明やポスターの位置にも神経を使い大会が無事に終わるまで緊張の連続でした。特に、最初に参加者に出会う受付は責任重大！協力員とのあ・うんの呼吸と薩摩おごじょ笑顔で乗り切ることができました。大会前は不安で一杯でしたが、終了した今改めて感じることは鹿児島の看護職の「チーム力」の素晴らしさです。

【学会準備委員 赤坂 和代】

学会準備委員

委員長…向窪世知子

委員…赤坂和代 片平久代 木村孝子

首藤真奈美 中村弘子 西真理子

宮崎恵美子 八田冷子 吉元恭代

加治屋伸子 (五十音順)

学会抄録選考委員会

委員長…丹羽さよ子

委員…大山もと子 北山久美子 杉野朋子

濱田恭子 福崎伊豆美 宮蘭幸江

山本むつみ 渡邊理恵 (五十音順)

心に残る 看護体験



独立行政法人国立病院機構南九州病院
看護師 佐藤 エリカ

私は、看護師になり12年目になります。去年より緩和ケア棟へ勤務し、「その人らしくいけること」ができるように努めています。ある患者様は、したいことはしてきたが、最後に福岡のスポーツ観戦をしたいと望まれていました。全身状態が悪く、急変の可能性もありましたが奥様の協力もあり、希望を叶え穏やかな時間を過ごされました。奥様は、なんでもしてあげたいと毎日、清潔ケアや散歩、マッサージをされ2人の時間を大切にされていました。そして、最期が近づくと奥様は、気持ちが揺れながら状況を受け入れ、悔いのない看取りをしようとされていました。私達は奥様のニーズに充足し、できるだけ心穏やかに悔いのない看取りができるように関わりました。最期の時、A氏のご家族に見守られながら穏やかな最期を迎えました。奥様も落ち着いて対応され、A氏に「ありがとう。苦しまなくてよかった。」と話され、エンゼルケアも思いを込めて一緒にされました。遺された家族の心の癒しや悲嘆の回復のためにも最期まで家族との関わりが重要です。できるだけ悔いのない別れ方を支えることができたらと思います。難しいことも多いですが、そのニーズを出来るだけ充足できるように、その方法を探る姿勢を大切にしていきたいと思っています。



独立行政法人国立病院機構南九州病院
看護師 中村 貴子

看護師になり10年が経過しました。私が外来勤務となった当初、外来という短い診療の中、業務優先になり患者様へ個別に関わる時間がない現状に対して、外来看護ができていないのか不安を感じていました。ご病気を持ちながらご自宅で生活している患者様の心配や不安に耳を傾け、少しでも安心してご自宅で生活できるように個別的な関わりが外来でもできるのではないかと考えました。そこでセルフケア支援が必要と考える抗癌剤内服中の患者様へ対象を絞り、チームで個別支援を行うようになりました。外来看護師が、採血や診察の待ち時間を利用して個別的に患者様へ関わる時間を設けることで、患者様から「不安でいっぱいの中、外来で話を聞いてもらえて落ち着きます」「今日は話を聞いてもらえないの」「これまでは、誰に相談していいかわからなかったけど今は安心だわ」等の声が聞かれ、診察前の個別支援の時間を楽しみにしている患者様も少しずつ増えてきました。このような患者様の声を頂くことで、外来でも継続した看護の提供が出来る事に誇りを感じると共に、外来看護師として看護へのやりがいを感じる事が出来ました。これからも、少しでも多くの外来患者様に寄り添い、心の通う看護を行ってきたいと思います。



垂水徳洲会病院
看護師 上田 美鈴

H6年に看護師の資格をとり19年となります。患者さんからもらった一通の手紙で妊娠中も仕事を頑張れた自分について話したいと思います。

H11年春に17歳の少女が右大腿骨骨折後の抜釘の為、入院してきました。前年にバイク事故で搬送され牽引しなければならぬほど・・・というも事故の原因が3人乗りをした原付バイクとタクシーの接触です。骨折の痛みから泣きわめく少女に、私は「自分の行動から起こった結果だよ」「親からもらった体・いずれは好きな人のもとに嫁ぐ自分の体にあなたは好奇心からの行動で傷をつけたのよ」と話してもその時は納得してもらえませんでした。翌年、抜釘で再入院した少女から、「ありがとう」の言葉と一通の手紙をもらいました。手紙には事故によりおたった傷跡・リハビリの辛さ・親のありがたさなどが書かれていました。時に厳しく、時に優しく自分もなりたいたい。私の言葉が彼女の心に傷をつけた、強く言い過ぎたのではないかと後悔しましたが、手紙の内容を読み話して良かったんだと感じました。看護師は優しいだけではありません。患者さんに合わせて厳しくも優しくもいなければ。これからも、一人ひとりと向き合い頑張っていきたいと思っています。



垂水徳洲会病院
看護師 田之上 美香

看護の仕事をして、24年目になります。病棟、外来、訪問看護など経験させてもらいました。今でも患者さんから教えられることばかりです。患者さんたちは、私たち看護師のことをよく見ています。「今日は元気がないね、何かあったの?」と反対に声をかけてもらうこともありました。これではいけないと、患者さんに心配してもらうようでは・・・と思い、ユニフォームを着用したときは、深呼吸し業務に入るようにしました。今は、モニターなど機器によるデータ管理が増えてきています。自分の中では、データは勿論必要ですが、自分の目で確認、患者に触れて確認と思い毎日の看護を行ってきました。ある時、患者さんが「脈をとったり、体に触れてもらおうと安心する」「あなたが来るとホッとする、落ち着くのよね」と声をかけてくださいました。私の中では、当たり前のこととして仕事をしてきたことで、意識してはいませんでした。しかし、患者さんからの言葉がうれしく、励みになったことは今でも覚えています。手で触れることの大切さ、人と人のふれあうことの大切さを忘れることがないように、これからも地域に貢献できるように努力していきたいと思います。



加治木温泉病院

医療法人玉昌会加治木温泉病院は、鹿児島県のほぼ中央に位置する姶良市加治木町にあり、高速九州道「加治木インター」、鹿児島空港、JRの駅も近く交通に便利な地域にあります。病院の近くには滝百選の龍門の滝があり、パワースポットとしても最近注目を浴びています。又、正面には錦江湾をへだてて雄大な桜島が一望できます。当院はリハビリと人工透析を中心とした療養型病床の病院です。

患者・利用者・家族・職員すべての人たちが「いつまでも健やかに・・・私たちの願いです。」を基本理念に揚げ

医療・介護サービス行動指針

- 低賞感微**
- ・すべてに謙虚な気持ちで接する
 - ・お互いを思いやり、敬意を払う
 - ・すべてに感謝する
 - ・微笑みを添えて態度で示す

行動指針の下、笑顔の絶えない社会づくりに努めております。

【病院の概要】

- 院長／山下 正策
- 開設日／1978年6月15日
- 経営主体／医療法人玉昌会
- 病床数／350床
- 指定許可
 - 療養病棟入院基本料：1・2
 - 療養病棟療養環境加算1・2
 - 回復期リハビリテーション病棟入院料：2
 - 一般病棟入院基本料：13：1
 - 介護療養型医療施設・亜急性期入院医療管理料
 - 総合リハビリテーション施設
 - 日帰り人間ドック実施指定病院
- 認定／日本病院機能評価認定 (V. 6.0・リハビリ付加機能含む)
- 日本透析医学会認定施設・慢性期医療認定病院

看護部門は療養型病院として、亜急性期から慢性期の患者を疾病の看護だけではなく入院から在宅へ住み慣れた地域の生活に向けての看護をめざし教育、研修に取り組んでいます。そして、院内研修はもちろん衛星通信を利用して、最新の看護を新人、中堅、管理者と各分野を個人の都合の良い時間に受講できるシステムも取り入れています。院内研修も各種専門研修会へ参加し「認定看護師・専門看護師」等の

取得に向けての支援や「慢性期医療認定看護師」「慢性期 ICU 看護師」「医療介護福祉士」など慢性期に特有の資格取得もしています。又、学びの成果は、法人学会で発表しています。この学会は職員だけでなくオープン参加なのでみなさんも聞きにいらしてください。(毎年6月実施)

今後 2025 年に向けて高齢者が医療、介護の中心になっていきます。新人・中途採用者看護師教育プログラムに「地域包括ケアシステム」を組み込んで施設見学、研修も積極的に実施しています。また、子育て支援には時短勤務・看護休暇や 24 時間対応託児所があり、子供さんの様子が各スタッフステーションの PC 画面で見られることもできるため安心して業務ができます。育休後は職場復帰プログラム、病休者には復帰リハビリプログラムを実施して安心して職場復帰ができるよう支援しています。地域及び医療・福祉施設との連携を図り専門職がチームを組んで質の高い医療を目指して職員一同頑張っています。

総看護師長 富永貴三子



次回は **枕崎市立病院**
です。お楽しみに！

ナースセンターだより

Vol.106

平成 25 年度 ふれあい看護体験報告

看護の心をみんなの心に。「看護の日」記念事業として、今年もふれあい看護体験が県内 45 の施設で実施されました。5 月と夏休み期間を合わせて 528 名の参加者があり、それぞれの施設ごとにユニークな内容で、貴重な看護体験をしました。

一日看護体験を終えて

- ◆人は生きていく中でたくさんの出会いがありますが、このような医療関係の職業に携わることによる出会いも、とても良いなあと感じました。
- ◆点滴や看護などの技術だけでなく、患者さんと心から向き合っ、患者さんのために話を聞いたり、患者さんの心をあったかくするのが看護師なんだと思いました。
- ◆看護の仕事や看護師になるための進学のことがわかりとてもよかった。
- ◆看護師の大変さを改めて知りました。だけど、患者さんの手や足を洗った時に喜んでもらってすごく嬉しかったです。こういうことが看護師さんのやりがいなんだなあと感じました。



看護の道への第一歩！



ふれあい看護体験 体験者 528 名

小学生	27名
中学生	40名
高校生	427名
一般	34名

担当看護師からのコメント

- ◆患者さんとのふれあい体験で看護を志したいと認識する学生が多い中、他職種の仕事を知ることで、進路を改めて考えるという学生もいました。
- ◆「ふれあい看護体験」に参加した生徒が就職し、一緒に働く仲間になった。また、看護体験を通してメディカルエンジニアのことを知り、実習生として ME 科にいられた学生さんもいて、当院で協力する他職種も力のかけ具合が変わってきました。これからも医療チーム一丸となって、ふれあい看護体験をもりあげて、医療従事者を目指す子どもたちの力になりたいと思います。

ハローワークでのお仕事相談

平成 25 年 4 月から、ハローワークかごしま（鹿児島公共職業安定所）において、毎月 1 回ナースセンターの相談コーナーが開設されています。これまでに、「家庭の状況に合わせた仕事を探しているが見つからない」「ブランク後の再就業となるが、どんな職場がよいかわからない」「看護職としてキャリアアップしたいが、仕事と家庭の両立で迷っている」等、様々な相談がありました。そして、相談後に就業が決まったという嬉しい声も聞かれています。

今後の日程は下記のとおりです。ぜひ御利用下さい。

◆相談会場

ハローワークかごしま（鹿児島公共職業安定所）
〒890-8555 鹿児島市下荒田 1-43-28
◎10月24日（木） 13：30～15：30
◎11月28日（木） 13：30～15：30
◎12月19日（木） 13：30～15：30



平成25年度 再就業支援セミナー（大隅地区）

本年度は、鹿児島地区に加えて、大隅地区において、再就業のための支援セミナーを開催します。
ブランクがあって復職が不安・・・という看護職の皆様の職場復帰をサポートします!!



【日時・場所】

平成25年11月26日（火）～12月4日（水）（4日間）
講義 9：00～16：10
（県民健康プラザ健康増進センター）
実務研修 9：00～16：00（近隣の病院など）

【受講資格】 就業していない、または再就職1年未満の
保健師、助産師、看護師、准看護師

【受講料】 無料（損害賠償保険等諸経費2000円が必要）

【申込期間】 平成25年9月2日（月）～10月31日（木）

【申込方法】 電話、メール、来所にてナースセンターに
お申し込み下さい。

【内 容】 看護の動向と看護倫理、看護過程と記録、
看護技術（採血）、医療事故防止のとらきみ、
院内感染防止、皮膚排泄ケア、救急時のケア
呼吸・循環とフィジカルアセスメント、実務研修

平成25年度 訪問看護フォローアップ研修

訪問看護ステーションに勤務する看護職の皆様が、訪問看護に必要な知識・技術を習得し、質の高い訪問看護を行うように研修会を開催いたします。
多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日 時：平成25年10月26日（土） 10：00～16：00
場 所：鹿児島県看護協会 視聴覚室（2F）
対象者：訪問看護に従事している看護職
資料代：500円
申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、
FAX（099-256-8079）にて
お申し込みください。

締め切り 平成25年10月19日（土）

※申込書は看護協会ホームページからダウンロード出来ます

お問い合わせ 鹿児島県看護協会ナースセンター
（Tel 099-256-8025）

<内容・プログラム>

- ◆ 『訪問看護の現場で活かせるフォトセラピー
～フォトケアの実際～』
講師：訪問看護ステーションかりん 管理者 森 恵
- ◆ 『ストレスの仕組みを知って付き合おう』
講師：鹿児島メンタルヘルス研究所 ハート・ピース
精神保健福祉士・産業カウンセラー 大重 和枝

鹿児島県ナースセンター [看護師等無料職業紹介所 46-ム-010002]

ナースセンターでは、看護職の様々な悩み相談を行っています。
看護職の就業相談員があなたの悩みに丁寧に対応します。
また、求人・求職相談窓口として、求人施設の皆様、お仕事を探して
いる看護職の皆様のご登録をお待ちしています。
お電話、来所、メール等で、お気軽にお問い合わせください。

◆窓口・電話相談◆

相談日：月～金 午前9：00～12：00
午後1：00～4：00

住 所：〒890-0064 鹿児島市鴨池新町 21-5
T E L：099-256-8025 FAX：099-256-8079
E-mail：kagos h ima@nurse-center.net



ネットで求人・求職！ e-ナースセンター
http://www.nurse-center.net
（類似サイトにご注意下さい）

鹿児島県の求人・求職登録状況（6月～8月分）

（人）

	有効求人数					有効求職者数					就職者数				
	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計	保	助	看	准	計
6月	19	3	373	1	396	13	3	154	13	183	1	0	40	1	42
7月	19	5	348	15	387	18	1	140	12	171	0	0	40	4	44
8月	19	5	359	20	403	25	3	150	16	194	0	1	38	2	41

お知らせ

ホームページをリニューアルしました！

従来のホームページよりもスマートフォンからの閲覧がとてもしやすくなりました。理事会報告・委員会報告・地区活動報告・研修案内・新着情報など随時更新してまいりますので、是非ご覧ください。

また Facebook も始めました。鹿児島県看護協会 Facebook ページの「いいね！」ボタンを押して、ぜひ最新情報を手に入れてください。〔いいね！〕ボタンを押すには Facebook へのユーザー登録が必要です。〕

1

ホームページのリンクについて

平成24年度、通常総会において出された会員の意見を反映して、平成24年12月から、県看護協会ホームページと希望のあった医療機関等のホームページをリンクしたところです。

平成25年度、追加の募集を行ったところ、新たに21施設の希望があり、97施設となりました。詳細は、鹿児島保健医療圏5施設、南薩保健医療圏5施設、川薩保健医療圏5施設、出水保健医療圏4施設、始良・伊佐保健医療圏16施設、曾於保健医療圏2施設、肝属保健医療圏7施設、熊毛保健医療圏2施設、奄美保健医療圏5施設となっております。

是非、県協会ホームページをご覧ください。



お知らせ

研究倫理委員会規約の改定について

研究倫理委員会規約については、平成25年1月26日制定したところですが、今般、会員施設において、研究倫理委員会等の設置がなく研究倫理の審査を受けることができないため、日本看護学会等にエントリーできない。このため、本協会の研究倫理委員会の審査対象を拡大してほしいとの要望があり、自施設に研究倫理委員会がなく研究倫理の審査を受けることができない会員は、施設長等の許可を得て、会員である研究代表者が申請を行えるように改定しました。

手数料は、当分の間無料とします。倫理委員会は、3月と9月の2回開催予定です。様式等はホームページに掲載しております。

2

お知らせ

新規事業について

◎ 県から、「地域医療再生計画事業」に係る要望の照会があり、本会から提出しておりました次の事業が採択されましたのでお知らせします。

今後、関係者の御協力をいただきながら進めてまいります。

1 看護師等確保対策事業（県からの委託事業として実施予定）

- ①働き続けられる職場づくりの普及啓発
- ②再就業支援セミナーの開催（鹿児島市以外の開催）
- ③潜在助産師再就業支援セミナーの開催
- ④県内就業促進のための看護学校訪問

2 在宅医療・ターミナルケア人材育成事業

- ①居宅サービス事業所及び介護施設等で働く看護職員の研修会の開催（26年度から適用）
- ②25年度教育研修計画（P・9）「ELNEC-J コアカリキュラム看護職養成」が「エンド・オブ・ライフケア研修会」として実施されることになりました。受講料無料。資料代（テキスト他）のみ徴収になります。
- ③訪問看護に係るパンフレットの作成・配布

◎ 県からの委託事業

1 新人看護職員卒業研修（多施設合同研修）を、鹿児島地区（西之表市・熊毛郡）、南薩地区、大隅地区の3地区で、採用3年未満の保健師・看護師・准看護師等を対象に、開催地の県地域振興局・支庁の協力をいただきながら実施することとなりました。

2 一般病院医療従事者認知症対応力向上研修等事業

- ①一般病院に勤務する医療従事者等に認知症の人や家族を支えるために必要な基本的知識等を習得するための研修
- ②急性期病棟における認知症患者の看護リーダー育成の研修です。

3

お知らせ

4

平成26年度の総会について

平成26年5月24日（土）を予定しています。

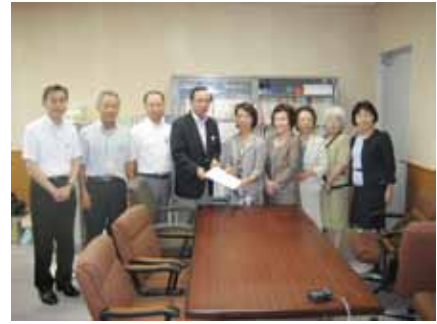
お知らせ

平成26年度鹿児島県看護関係予算等に関する要望

鹿児島県看護協会は、昨年に引き続き、平成25年8月27日、平成26年度予算看護職員確保対策等に対する要望を行いました。

5

- 1 要望先：鹿児島県知事（保健福祉部長）
- 2 要望事項
 - (1) 看護職の確保・定着等の支援策について
○ナースセンターの充実について
 - (2) 准看護師の進学支援及び准看護師養成所から看護師養成所への移行支援について
 - (3) 専任教員養成講習会の開催
（看護教員養成支援事業）について
 - (4) 災害協定の締結について



お知らせ

災害支援ナースの派遣訓練を行いました。

去る、8月28日（水）～30日（金）までの3日間、日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練が行われました。

今回は、「南海トラフ日向灘沖を震源とした大規模地震」と題し、宮崎県全域が被災し、宮崎空港が浸水の為使用不可となり、鹿児島県、熊本県、福岡県の空港に支援ナースを派遣し、それぞれの県からバスを使用して宮崎県に入るといった想定でした。

実働を伴わない訓練で、日本看護協会⇄鹿児島県看護協会⇄災害支援ナースのいる施設とのメールでやりとりを行う紙上訓練でした。本県では災害支援ナースのいる39施設中19施設が訓練に参加しました。

毎年行っている訓練ですが、今回はお隣の宮崎県が被災に合うという想定で、より身近に感じられ、身の引き締まる訓練となりました。

メールでのやりとりがスムーズにいかない等、課題はございましたが、毎年訓練を行うことで、いざ災害が起こった時に、少しでも迅速にスムーズに動けるのではないかと思います。

最後に、訓練に参加していただいた施設の看護部長様・災害支援ナースの皆様方・災害看護検討委員会委員長、御多忙の中、最後までお付き合いいただきありがとうございました。

お知らせ

「シニア世代がもっと輝くための研修会」報告

パワフル age 委員会

さる7月20日（土）に上記研修会が開催された。午前中は伊尻環先生、川口初美先生、井上チエ子先生の講演、午後は先生方を囲んでフリー・トーキングと大変熱気あふれる研修会であった。

7

<参加者の声>

- 同年代の人が起業して頑張っている姿に刺激を受けた。
- 今後起業を考える上で役に立つと思います。
- どれ位の資金と人員があればということが良く理解できた。
- 起業することとはとても不安があるが、不安よりもやりたいことをやる勇気と“自分の夢を実現するために”エネルギーを使っている方は本当に偉いと思いました。

昨年度のアンケートを基に希望の多かった起業家による研修会を企画した。委員会としては、会員と連携を図りながら研修会の時期、広報活動のあり方等次年度の課題として今後取り組んでいきたい。

お知らせ

始良・伊佐地区で研修会を開催いたしました！

今年度も研修会館で実施している研修内容と同内容の研修会を身近なところで開催し、多くの方に参加していただけるように地区研修を実施しております。始良伊佐地区では、平成25年8月10日（土）に霧島市立医師会医療センターにて研修会「一般病棟における患者急変時のフィジカルアセスメント」を開催いたしました。「今後の実践に役立つ」「分かり易くとても勉強になった」との声を多くいただいております、皆様にとって充実した研修会となったことを大変嬉しく思います。

今回のような研修会を出水地区・大隅地区・大島地区でも開催予定です。詳細は平成25年度教育研修計画書または当協会ホームページを御参照ください。皆様のご参加をお待ちしております！



研修会の日程変更について

研修会名	開催日時	申込期間
看護管理者に必要な基礎理論	平成25年11月10日(日)	10月1日～10月15日
看護倫理	平成26年3月3日(月)	2月1日～2月15日
助産技術の向上 ～産科医療補償制度の事例検討～	平成25年12月21日(土) 10:00開始→9:00開始に変更	(追加内容)題名「歯科からの健やかな妊娠・出産支援」 講師 おく小児矯正歯科 歯科医師 奥 猛志 先生 保健師・看護師も受講可能です。

御迷惑をおかけいたしますがお間違えのないようご参加ください。

鹿児島県看護協会の会員の状況をお知らせします

入会率は、全国、下から2番目となっております。

会長メッセージ

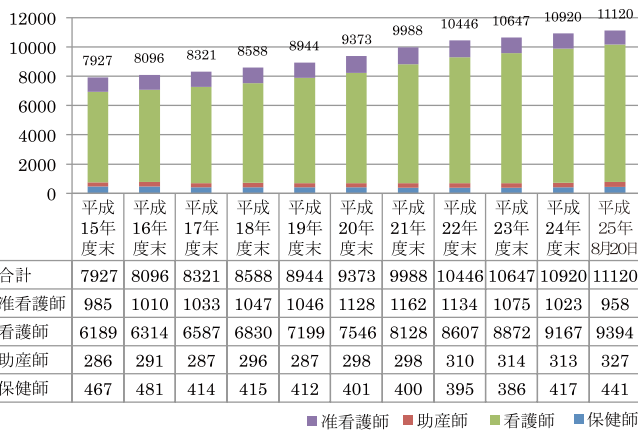
本協会は、県民の皆様の健康生活の向上に寄与することを目的としています。そのために、看護職の仕事やその重要性を発信すること、看護職自身が自分の仕事を誇りに思えるよう看護の価値を高めていくことなどをめざし、様々な事業を実施しております。

看護職は、精神的にも肉体的にも負担が大きく、ストレスや悩みの多い仕事ですが、看護職のケアや笑顔で癒される方々もたくさんいらっしゃいます。

あなたが元気で働けるように、未来に向けて成長できるように、鹿児島県看護協会は、サポートしていきたいと考えています。

看護職は専門職です。専門職として、自律して行動できるよう、そして、社会貢献できるよう一歩先へ…さらに専門職としての可能性をひろげませんか…

会員数は年々増加

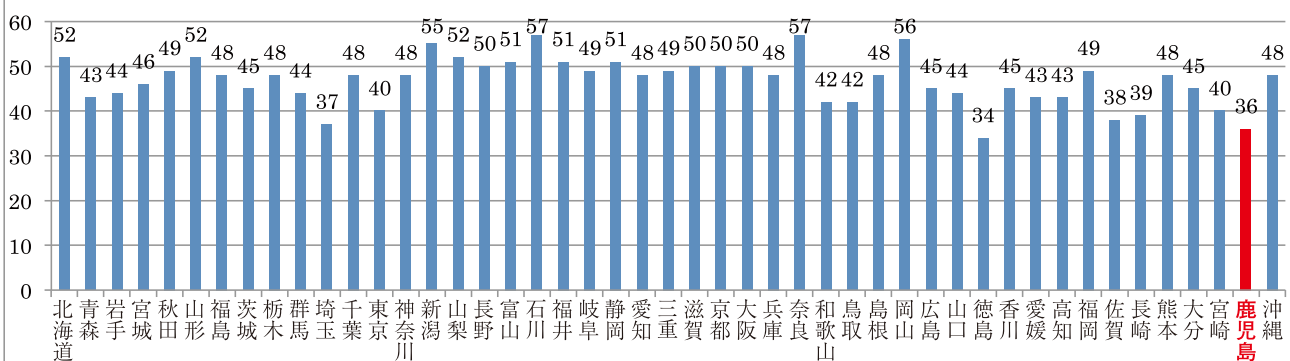


◎ 入会の仕方 右ページ (13 ページ)

◎ 会員特典

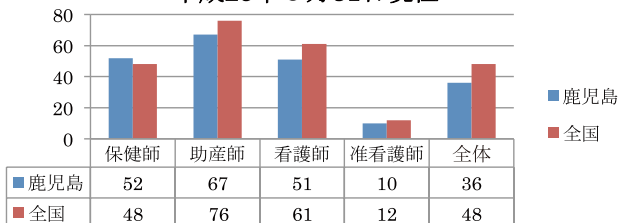
- ① 研修会・講習会への参加
- ② 図書室の利用
- ③ 看護・医療の最新情報
- ④ 「日本看護協会 (JNA) 会員ダイレクト」は、会員だけが利用できるインターネットサイトです。
- ⑤ 職場をこえたネットワークづくり
- ⑥ 「看護職賠償責任保険制度」の加入
- ⑦ 学会への参加
- ⑧ 研修会館の利用
- ⑨ 会員の慶弔見舞

入会率は全国下から2番目です。



出典：日本看護協会総会資料

職能別看護協会入会率 (全国比較)
平成25年3月31日現在



会員になって、
働く仲間と
思いを一つに!

平成26年度 看護協会入会のご案内

12月より、平成26年度の会員継続・新規入会の手続きが始まります。

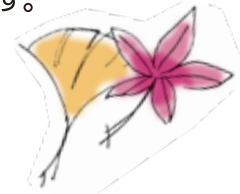
「入会申込書・継続申請書」用紙の送付は、11月中旬を予定しております。

平成25年9月末までに入会された方には、「平成26年度会員継続申請書（プレプリント版（※））」を、10月以降の入会者・新規・再加入の方は、手書き用入会申込書での手続きとなります。引き続きのご入会・新規のご入会をお待ちしております。

平成26年度会員証の送付は、平成26年3月以降となります。

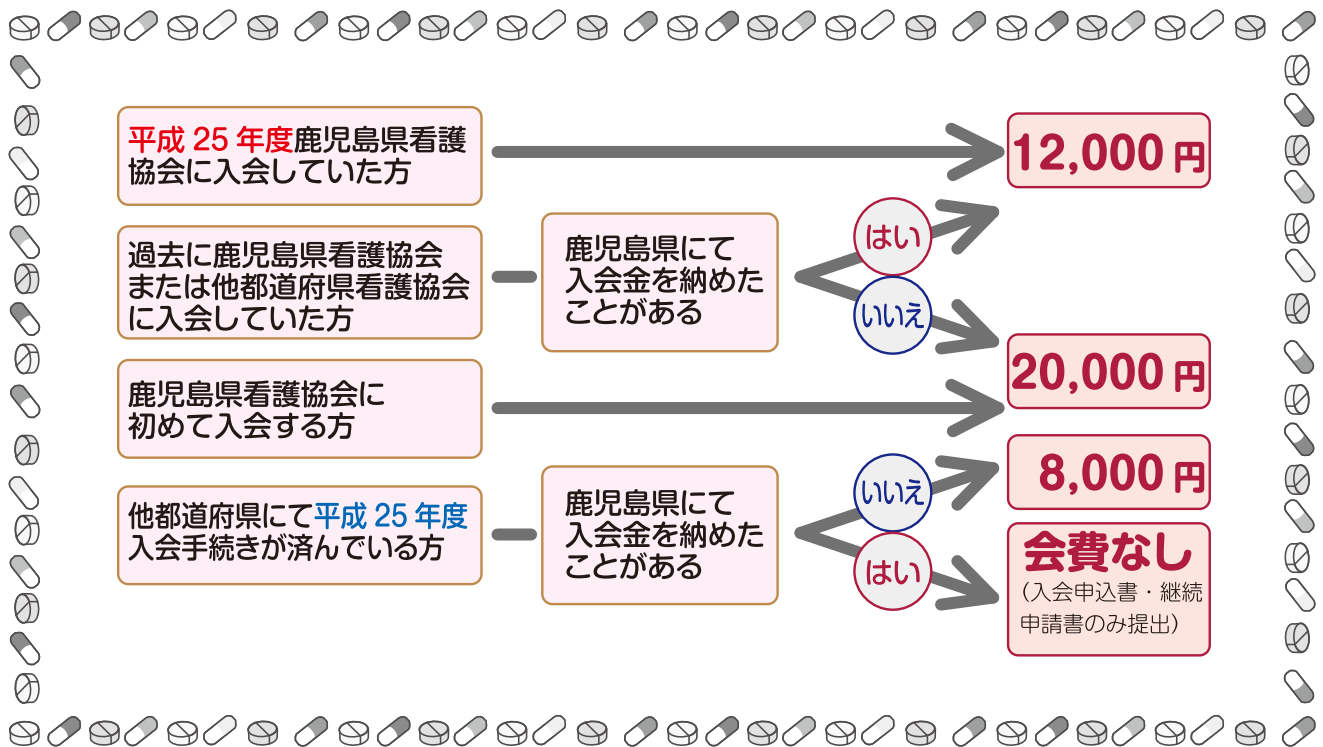
なお、平成25年度の入会も1月中旬まで受付ます。

（※）プレプリント版とは：前年度の会員個々の登録情報が印字された継続申請書。



会費等内訳

- ☆ 平成25年度会員の方は継続で、日本看護協会費 5,000円・鹿児島県看護協会費 7,000円で、合計 12,000円になります。
- ☆ 鹿児島県看護協会に初めて入会する方・過去に入会歴はあるが未納の方は、入会金が 8,000円必要になりますので、合計 20,000円になります。



★ ご不明な点は、お問い合わせ下さい。

平成25年度 「看護職賠償責任保険制度」 の加入手続きが始まりました！

加入方法・資料請求に関するお問合せは
「看護職賠償責任保険制度」コールセンター
(☎ 048-649-6118) へ

平成25年度 鹿児島県看護協会会員数	
保健師	443人
助産師	329人
看護師	9,444人
准看護師	962人
合計	11,178人

平成25年10月4日現在

※前年同月より340人増となっております。

入会特典



入会特典
1

**放送大学への入学を考えて
おられる看護協会員の方へ**

20名以上の集団入学をした場合は、入学金が半額になります。

20名に達した場合は、集団入学の手続きを行います。

20名に達しない場合は、個々での手続きをお願いいたします。



入会特典
2

**レンブラントホテル鹿児島の
レストランご利用金額から
10%割引いたします。**

2013年
12月31日
まで

ご利用の際は、会員証のご提示をお願いします。

レンブラントホテル鹿児島

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町22-1 TEL 099-257-2411

公益社団法人 鹿児島県看護協会 主催事業

期間中(2013年12月14日(土)～2014年1月13日(月祝))に限り

入会特典
3



無料ご招待

入園+アトラクションフリーのパスポートチケットがすべて無料

会員と
そのご家族
対象



★印がイルミネーションの開催日
※ショースケジュール、アトラクションの最終時間は
お問い合わせください。

営業時間

■ 10:00～17:00 (本企画は対象外)

★ 10:00～21:00 (※利用申請書のみ提示、または「会員証」のみ提示では本企画をご利用できません。必ず、「利用申請書」「会員証」の2つを一緒に提示してください。)

※12/31の19:00～24:30の「カウントダウン営業」については本企画の対象外となります。

2013年 12月 December							2014年 1月 January						
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5		
9	10	11	12	13	14	15	6	7	8	9	10	11	12
16	17	18	19	20	21	22	13	14	15	16	17	18	19
23	24	25	26	27	28	29	20	21	22	23	24	25	26
30	31						27	28	29	30	31		

イベント情報など詳しくはHPで!
ハーモニーランド (検索)

ハーモニーランドのイベントに関する
お問い合わせは
TEL.0977-73-1111
【営業時間内】

Harmonyland
© 1976, 2009 SANRIO CO., LTD.

アクセスMAP



大分県速見郡日出町大字藤原5933番地
日出I.C.から約2分!(国道10号線沿)

※利用申請書は鹿児島県看護協会のホームページからダウンロードしてください。

平成 26 年度公益社団法人鹿児島県看護協会 役員・推薦委員並びに 平成 27 年度日本看護協会通常総会の 代議員及び予備代議員の公募について

平成26年度鹿児島県看護協会役員・推薦委員並びに平成27年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員は平成26年5月の通常総会において選出されます。次年度(平成26年度)に改選される役員・委員並びに平成27年度日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員について公募を行いますので立候補される方は次の要領で届け出てください。

- 公募する役員・推薦委員会委員・代議員及び予備代議員は、次のとおりです。
- **正会員5名以上の推薦が必要です。**
(定款施行細則第12条)
- 届出書(様式)に必要事項を記入し、提出してください。

役職名	公募数
会長	1名
副会長	1名
助産師職能理事	1名
看護師職能理事 I	1名
地区理事(鹿児島)	1名
地区理事(南薩)	1名
地区理事(出水)	1名
地区理事(大隅)	1名
准看護師理事	1名

委員名	公募数	摘要
推薦委員	7名	

平成27年度日本看護協会通常総会

代議員・予備代議員	公募数	摘要
代 議 員	7名	各地区から1名(准看護師含む)
予 備 代 議 員	7名	

※ 日本看護協会代議員は、会員数により人数が決められます。今後、日本看護協会から依頼がありますが、代議員数に変更があった場合は、ホームページや平成26年1月発行予定の「看護かごしま」に掲載します。

届出用紙・届出先・届出期間

- ・ 届出用紙は、鹿児島県看護協会ホームページからダウンロードするか、看護協会(庶務係)にお問い合わせください。
- ・ 届 出 先 : 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町 21-5
公益社団法人鹿児島県看護協会推薦委員会委員長宛
- ・ 届出期間 : 平成 25 年 11 月 1 日～平成 26 年 2 月 23 日
- ・ 照会先等 : 電話 099-256-8081 ホームページ : <http://k-kango.jp>

※ 立候補者、推薦委員会からの推薦を受けた者いずれも総会2週間前には会員に発表します。

理事会 報告

平成25年7月20日(土) 16名出席

◆ 協議事項

- 1 県看護協会組織・看護協会役員の位置づけ・職務等について
- 2 県看護協会役員職務権限規程、県看護協会常勤役員及び管理職職務権限規程の改定について
- 3 公益社団法人鹿児島県看護協会理事について
- 4 平成25年度の事業について
 - (1) 日本看護協会通常総会での重点事業等について
 - (2) 平成25年度の事業計画について
 - (3) 通常総会における質問・意見等に対する対応について
 - (4) 地域医療再生計画事業について
- 5 会員獲得・機能強化に向けて
- 6 その他
 - (1) ワークライフバランス推進委員会開催及び支援者の養成について(7月5日)
 - (2) 老年看護学術集会について
 - (3) 新人看護職員合同研修について
 - (4) 本会企画の調査・研究の学会発表に係る支援について
 - (5) その他

★ 報告事項

- 1 日本看護協会通常総会(名誉会員・日本看護協会会長表彰・推薦委員)(口頭報告)

◎ 毎回、日本看護協会理事会報告・職能委員会報告を口頭で、前回開催の理事会議事録・運営委員会議事録、各委員会報告・他団体会議報告・県外出張報告を書面で行っている。

平成25年9月21日(土) 17名出席

◆ 協議事項

- 1 助産師の出向システムのモデル事業の実施について
- 2 平成25年度「病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修」の受託及びこれに伴う研修講師養成のための伝達研修の受講者派遣について
- 3 協会加入促進に係る新規加入者及び看護部長を対象としたアンケート調査の実施について
- 4 平成26年度 看護の日記念式典について
- 5 認定看護管理者教育課程(ファーストレベル)の養成について
- 6 鹿児島県リハビリテーション施設協議会10周年記念事業に係る鹿児島県看護協会の参画について
- 7 県看護協会の組織図について(訂正)
- 8 役員等の選出方法について
- 9 定款施行細則の改定について
- 10 地区規約の改定について
- 11 協会規程等における協会名の読替に関する規程について
- 12 理事及び委員の災害補償規程について
- 13 団体等からの後援の承認規程について
- 14 謝金の支払いについて
- 15 謝金規程の改定について(シンポジスト・座長追加)
- 16 研究倫理委員会規約の改定及び手数料について
- 17 表彰候補者の推薦について
- 18 改選役員・推薦委員並びに代議員及び予備代議員の公募について

★ 報告事項

- 1 鹿児島県公益法人等立入検査について(8月6日)
- 2 県知事への要望について
- 3 平成25年度日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナースは県調整合同訓練について
- 4 平成25年度前期事業報告(業務執行理事の職務の執行状況)について
- 5 平成25年度 看護部長等メーリングリストについて
- 6 平成25年度 県内医療機関等のホームページとのリンクについて
- 7 再就職支援セミナーの実施について(鹿児島・大隅)
- 8 老年看護学術集会について

編集後記

朝晩少し涼しくなり、秋の足音が聞こえている人もいるのではないですか。

猛暑続きでしたが、夏バテなどしていませんか。

今回の表紙は内倉外科病院の内倉院長が提供してくださりました。始良から見た桜島も違った形で、またいいですね。



看護専門職として
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の
向上のため活動しよう

公益社団法人 鹿児島県看護協会

鹿児島市鴨池新町21-5
TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079
URL <http://k-kango.jp>
E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp